

奈良西ノ京「薬師寺」で新入職員研修を実施

～ 加藤朝胤管主の法話を拝聴 ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は、10月21日（月）、奈良西ノ京「薬師寺」において、新入職員の研修を実施しました。

本研修は、「心の教育」として新入職員を対象に毎年実施しているものです。

最初に同寺加藤朝胤管主の法話を拝聴し、人生においてくじけそうになっても、初心を忘れることなく、目標に向かって邁進することの大切さを学びました。

その後、写経を通じて呼吸と気持ちを落ち着け、自身の心と向き合う時間を持ちました。

研修の最後には、同寺伽藍の見学を行い、三蔵法師が西方の天竺に向かう時の「不東」の精神の説明を受けました。「不東」とは、「経典を持ち帰るという目的を果たさぬうちは、決して東方（唐）には一歩も後戻りしない」という強い決心、気概を示した言葉であり、新入職員が業務への取り組みに対して決意を新たにす有意義な研修となりました。

記

1. 実施日 令和6年10月21日（月）
2. 場所 法相宗大本山 薬師寺（奈良市西ノ京町）
3. 内容 (1) 法話 加藤朝胤管主
(2) 「般若心経」読経と解説
(3) 伽藍見学
① 玄奘三蔵院伽藍（「不東」扁額（※1）、玄奘塔、大唐西域壁画殿）
② 白鳳伽藍
③ 東塔（※2）
（※1）同院の落慶を祝し、当金庫が平成3年に寄贈。
（※2）当金庫から解体修理事業に寄進。
(4) 写経（道場入口の「おかげさま」扁額は、当金庫が令和元年に寄贈。）

4. その他

当金庫には、薬師寺にて写経をする顧客組織「シティ信金写経会」があります。同会は昭和52年の発足以来、毎月8日に開催し、写経を通じて多くの方々に心の安らぎを感じていただいています。



加藤管主の法話の様子



写経する新入職員

以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

